

有限会社エスアンドエムマシナリー（千葉県事業承継・引継ぎ支援センター）

ノンデータベースを活用し成約した第三者承継

基本情報

相談企業：有限会社エスアンドエムマシナリー（野田市）	承継方法：株式譲渡
譲渡者：増田勇様(取締役)、齋藤剛様(元取締役)	引継ぎ期間：2023年6月～2025年1月
譲受者：株式会社オーティーエス	対応方針：三次対応
種別：第三者	取扱：公表可

相談企業の概要

- ・譲渡側である有限会社エスアンドエムマシナリーは、平成7年4月設立の小型工作機械メーカーである。当社は船橋市内に工場を有し、自社ブランドのNC旋盤加工機などの産業用機械を製造している。売上構成は、ユーザーからの直接受注が50%、商社経由が50%となっている。
- ・従業員は、増田代表の他、正社員2名、パート社員7名の構成である。

相談までの経緯

- ・設立より30年近くが経過し、創業者で代表を務める取締役の増田勇氏は高齢となり、親族や従業員にも後継者がいない中、千葉県産業振興センター事業転換特別チームより当センターを紹介され、2023年6月に相談に至った。

センターの支援内容とその効果

- ・当センターでは、10件以上の譲受候補企業等に打診するも先に進む案件がない中、2024年6月新たに当センターに登録した株式会社オーティーエスに打診。同社は機械工具商社で、傘下にメーカーを持つビジネスモデルを持っており、当社はそのモデルに合う先であった。7月、当社船橋工場にてトップ面談を実施。以降、双方の直接交渉により譲渡条件の詳細を決定。当センター登録専門家の弁護士によるリーガルチェックを経て、2025年1月、センター登録後に設立した株式会社オーティーエスホールディングスを譲受先として株式譲渡契約を締結、同日クロージングを行った。譲受側の大塚一徳代表取締役社長が当社代表取締役会長に、荘司敏之執行役員が代表取締役社長に就任。増田代表も3年程度取締役として残る形で新体制が発足した。この成約により、譲渡側は、顧客との取引継続や従業員の雇用継続が図られた。また、譲受側は新たなプロダクトを提供できる体制となり、有意義なM&Aの成立となった。



本社前にて



工場製造現場



自社製品例（WNC-25-FX）